

世界にはさまざまな祭りがありますが、日本では豊作を祈るものが中心で、みこしや屋台を動かしたり、踊りや演奏などを奉納したりする行事が多く見られます。

日本三大祭といわれるのは、ソイヤ、ソイヤの掛け声で180基のみこしが担ぎ出される神田祭や1100年もの伝統を誇る祇園祭、舟と花火が華やかな天神祭です。また、からくり人形を載せた屋台を引き回す高山祭やねぶた人形が練り歩くねぶた祭、幻想的な雪像が見ものの「さっぽろ雪まつり」なども毎年多くの観光客が見物に訪れるほどの人気です。

ところで、屋台やみこしが動きだすのに、なくてはならないものといえば祭りばやしです。大方は笛や太鼓、かねで構成され、独特のリズムを刻んで祭り気分を盛り上げます。これを聞いただけで、心がうきうきしてしまう人も多いのではないのでしょうか。また、ねじり鉢巻きも日本の祭りに欠かせないアイテムの一つです。日本手ぬぐいをキリリといきに締めた姿は、男女を問わずいなせなものです。これは髪をすっきりまとめるためと、祭りのときにまく水や汗が、目に入るのを防ぐために巻くのだそうですが、他国の祭りでは見られない、日本ならではのスタイルといえるのではないのでしょうか。